提案理由説明書

令和7年9月定例会

本日開会の市議会 9 月定例会に提出いたしました議案のご審議をお願いするにあたり、その提案理由の概要をご説明申し上げます。

議案は全部で 22 件あり、決算案 11 件、予算案 3 件、条例案 5 件、契約案 2 件、人事案 1 件となっております。

以下、議案番号に従い順次、ご説明申し上げます。

最初に**認定第 1 号**から**認定第 5 号**までの決算案の概要について申し上げます。

令和 6 年度の本市財政を取り巻く社会経済情勢を振り返りますと、不安定な海外情勢や円安の進行などに起因する物価高騰は終わりが見えず、また、全国的な人件費の上昇による事業費の増や、日銀のマイナス金利政策の解除に伴う「金利のある世界」への移行といった大きな変化も見られ、地方財政を取り巻く状況は、依然として不透明なものとなっております。

このような中、令和 6 年度決算は、歳出においては、喫緊の課題である人口減少対策や真の子育て支援日本一に向けた取組、また、新図書館、富士山木のおもちゃ美術館の整備といった未来を見据えた事業の推進など、今必要な施策を適時的確に展開し、一方では、緊急的な財政出動に備え、経常経費の縮減に全庁一丸となって取り組みました。

こうした中、令和 6 年度決算を総括しますと、先行き不透明な状況での財政運営ではありましたが、財源を最大限に確保し事業展開を図ったこと等により、最終的には、財政の健全性を維持した中で良好な決算を迎えることができました。

それでは、**認定第 1 号**、令和 6 年度御殿場市一般会計歳入歳出決算認定について申し上げます。

令和6年度の一般会計は、歳入481億526万円余、歳出446億8,958万円余の決算額となりました。

歳入から歳出を差し引いた形式収支は34億1,567万円余となり、形式収支から令和7年度への繰越事業に充当する財源5億3,414万円余を差し引いた実質収支は、28億8,153万円余の黒字となりました。

歳入決算額は、前年度と比較して、29億288万円余、6.4%の増となりました。主な要因は、繰越金が11億3,962万円余の減となった一方、財産収入が7億756万円余、寄附金が6億5,911万円余、繰入金が9億5,848万円余の増となったことによります。

歳出決算額は、前年度と比較して、17億1,170万円余、4.0%の増となりました。主な要因は、教育費が2億5,296万円余、公債費が1億4,204万円余の減となった一方、民生費が11億822万円余、農林水産業費が2億83万円余、土木費が2億9,114万円余の増となったことによります。

予算に対する歳出執行率は、前年度を1.1ポイント下回り92.1%となりました。

令和7年度への繰越明許及び事故繰越しの総額は、17億9,503万円余で、総務費、民生費、衛生費、商工費、土木費、消防費及び教育費に係るものによります。

また、令和6年度に実施した普通建設事業の主なものは、道路維持補修事業、地域計画関連道路整備事業、板妻南工業団地及び富士御殿場工業団地開発事業、西中学校校舎改築事業、新図書館等整備事業、学校給食センター施設改修事業などによります。

次に、**認定第2号**、令和6年度御殿場市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について申し上げます。

歳出の主なものは、保険給付費、国民健康保険事業費納付金及び保健事業費で、総額65億3,355万円余でございます。

歳入の主なものは、国民健康保険税、県支出金及び繰入金で、総額69億1,641万円余となり、歳入歳出差引き3億8,285万円余が翌年度へ繰越しとなりました。

次に、**認定第3号**、令和6年度御殿場市救急医療センター特別会計歳入歳出決算認定について申し上げます。

歳出の主なものは、救急医療センターの管理運営に係る総務費及び診療に要した医業費で、総額5億555万円余でございます。

歳入の主なものは、診療収入、証明等手数料、小山町負担金及び一般会計からの繰入金で、総額5億3,125万円余となり、歳入歳出差引き2,570万円余が翌年度へ繰越しとなりました。

次に、**認定第4号**、令和6年度御殿場市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について申し上げます。

歳出の主なものは、保険給付費及び地域支援事業費で、総額63億1,610万円余でございます。

歳入の主なものは、第1号被保険者の保険料、国及び県の負担金並びに支払基金交付金で、総額67億5,213万円余となり、歳入歳出差引き4億3,602万円余が翌年度へ繰越しとなりました。

次に、**認定第5号**、令和6年度御殿場市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について申し上げます。

歳出の主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金で、総額14億1,022万円余でございます。

歳入の主なものは、後期高齢者医療保険料で、総額 1 4 億 1, 6 2 4 万円余となり、歳入歳出差引き 6 0 1 万円余が翌年度へ繰越しとなりました。

次に、**認定第 6 号**、令和 6 年度御殿場市上水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について申し上げます。

収益的収支につきましては、収入が給水収益、その他営業収益などの 1 6 億 3, 1 7 9 万円余に対して、支出は、施設の維持管理費、減価償却費などの 1 2 億 2, 9 0 2 万円余で、3 億 2, 5 2 8 万円余の純利益が生じました。

また、資本的支出の主なものは、建設改良費及び企業債償還金で、総額 9 億 6, 7 1 1 万円余でございます。これらの財源として、他会計負担金及び工事負担金の資本的収入 2, 3 9 6 万円余を充て、残りの不足額につきましては、損益勘定留保資金などで補填いたしました。

なお、当年度未処分利益剰余金の処分につきましては、7 億 1, 3 3 6 万円余のうち、3 億 8, 8 0 8 万円余を自己資本金へ組み入れ、2 億 9, 4 3 8 万円余を建設改良積立金へ、1, 0 0 0 万円を災害準備積立金へ積み立て、2, 0 9 0 万円を一般会計納付金として納付いたします。

次に、**認定第 7 号**、令和 6 年度御殿場市工業用水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について申し上げます。

収益的収支につきましては、収入が給水収益、受取利息などの 5, 7 9 3 万円余に対して、支出は、施設の維持管理費などの 3, 8 2 1 万円余で、1, 4 2 5 万円余の純利益が生じました。

また、資本的支出は、建設改良費で、6, 0 1 0 万円余でございます。この財源につきましては、建設改良積立金などで

補填いたしました。

なお、当年度未処分利益剰余金の処分につきましては、5,322万円余のうち、3,896万円余を自己資本金へ組み入れ、1,425万円余を建設改良積立金へ積立ていたします。

次に、**認定第8号**、令和6年度御殿場市簡易水道事業会計決算認定について申し上げます。

収益的収支につきましては、収入が給水収益、他会計補助金などの7,033万円余に対して、支出は、施設の維持管理費などの7,033万円余で同額となり、純利益及び純損失は生じませんでした。

また、資本的支出は、建設改良費で、6,124万円余でございます。この財源につきましては、他会計補助金を充てました。

次に、**認定第9号**、令和6年度御殿場市公共下水道事業会計決算認定について申し上げます。

収益的収支につきましては、収入が下水道使用料、他会計負担金などの11億7,403万円余に対して、支出は、施設の維持管理費、減価償却費などの11億4,333万円余で、1,891万円余の純利益が生じました。

また、資本的支出は、建設改良費及び企業債償還金で、総額11億5,059万円余でございます。これらの財源として、受益者負担金、国庫補助金、他会計負担金及び補助金並びに企業債の資本的収入8億5,768万円余を充て、残りの不足額につきましては、損益勘定留保資金などで補填いたしました。

次に、**認定第10号**、令和6年度御殿場市農業集落排水事業

会計剰余金の処分及び決算認定について申し上げます。

収益的収支につきましては、収入が下水道使用料、他会計負担金などの8,723万円余に対して、支出は、施設の維持管理費などの7,215万円余で、1,502万円余の純利益が生じました。

また、資本的支出は、建設改良費及び企業債償還金で、総額2,145万円余でございます。これらの財源として、他会計補助金の資本的収入776万円余を充て、残りの不足額につきましては、減債積立金などで補填いたしました。

なお、当年度未処分利益剰余金の処分につきましては2,399万円余のうち、897万円余を自己資本金へ組み入れ、1,502万円余を減債積立金へ積立いたします。

次に、**認定第11号**、令和6年度御殿場市公設浄化槽事業会計の決算認定について申し上げます。

収益的収支につきましては、収入が下水道使用料、他会計補助金などの7,042万円余に対して、支出は、施設の維持管理費などの6,944万円余で、98万円余の純利益が生じました。

また、資本的支出は、建設改良費で、1,645万円余でございます。この財源につきましては、浄化槽分担金及び負担金、国及び県補助金並びに他会計補助金の資本的収入を充てました。

次に、**議案第48号**、令和7年度御殿場市一般会計補正予算（第4号）について申し上げます。

今回の補正額は、31億1,700万円の増額で、補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ470億4,300万円となります。

補正の背景といたしましては、第3号補正後の状況変化により必要となりました予算の措置でございます。

歳出の主なものは、基金積立金、道路維持補修事業及び新図書館等整備事業の増額でございます。

歳入の主なものは、国庫支出金、繰入金、繰越金及び市債の増額でございます。

また、事業の進捗等により、繰越明許費及び債務負担行為の追加並びに地方債の変更を行うものでございます。

次に、**議案第49号**、令和7年度御殿場市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について申し上げます。

今回の補正額は、1,038万1千円の減額で、補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ73億5,561万9千円となります。

歳出の主なものは、委託料の増額及び償還金の減額でございます。

歳入は、国庫補助金、前年度繰越金の増額及び基金繰入金の減額でございます。

次に、**議案第50号**、令和7年度御殿場市救急医療センター特別会計補正予算（第1号）について申し上げます。

今回の補正額は、2,431万1千円の増額で、補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ5億2,231万1千円となります。

歳出の主なものは、年末年始発熱外来検査対応に要する経費及び電子カルテ導入に要する経費の増額でございます。

歳入は、診療収入の増額でございます。

次に、**議案第51号**、御殿場市議会議員及び御殿場市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公費負担に関する条例の一部を改正する条例制定について申し上げます。

本案は、公職選挙法施行令の一部が改正され、国政選挙における選挙運動用ビラ等の作成に係る公費負担の限度額が引き上げられたことから、市の選挙においても同様の引き上げを行うため、所要の改正を行うものでございます。

次に、**議案第52号**、御殿場市職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例制定について、及び**議案第53号**、御殿場市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定についての2案につきましては関連がございますので一括して申し上げます。

本2案は、育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び次世代育成支援対策推進法の一部を改正する法律の公布を受け、人事院規則が改正されたことに伴い、仕事と育児又は介護との両立支援を更に進めるため、所要の改正を行うものでございます。

次に、**議案第54号**、御殿場市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会設置条例等の一部を改正する条例制定について申し上げます。

本案は、御殿場市老人クラブ連合会の名称変更等により、各委員を推薦する団体の名称に変更等が生じるため、関係する条例について所要の改正を行うものでございます。

次に、**議案第55号**、御殿場市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の一部を改正する条例制定について申し上げます。

本案は、県が宅地造成及び特定盛土等規制法による規制を本年5月26日から開始したことに伴い、所要の改正を行うものでございます。

次に、**議案第 56号**、（仮称）原里市民の森整備工事請負契約の締結について申し上げます。

本案は、周辺の自然環境や資源を保全し、地域の交流及び活性化を図ることを目的とし、誰もが快適に利用できる公園を整備すべく、過日入札に付しましたが、予定価格が1億5,000万円以上となりますので、議会の議決を経て本契約を締結いたしたく、提案するものでございます。

次に、**議案第 57号**、新御殿場市立図書館等屋内備品の取得について申し上げます。

本案は、令和8年4月の開館に向け、整備を進めております新御殿場市立図書館の屋内備品を取得すべく、過日入札に付しましたが、予定価格が2,000万円以上となりますので、議会の議決を経て本契約を締結いたしたく、提案するものでございます。

次に、**同意第 4号**、御殿場市教育委員会委員の任命について申し上げます。

本案は、本年9月30日をもって任期満了となります大西孝明（おおにし たかあき）氏の後任として、勝又 俊行（かつまた としゆき）氏を任命いたしたく、議会の同意を求めるものでございます。

以上で、本日提案いたしました議案の提案理由の説明を終わりといたします。

慎重なご審議の上、ご賛同いただきますようお願い申し上げます。